あ!フラッグ!

「アフラックダック」を入口として
アフラックのファンを増やすアイデア

ターゲット

小さい子どもを持つ親

保険とは「もしもの時」に備えるもの。
大切だけど、自分のことだとつい後回しにしてしまう。

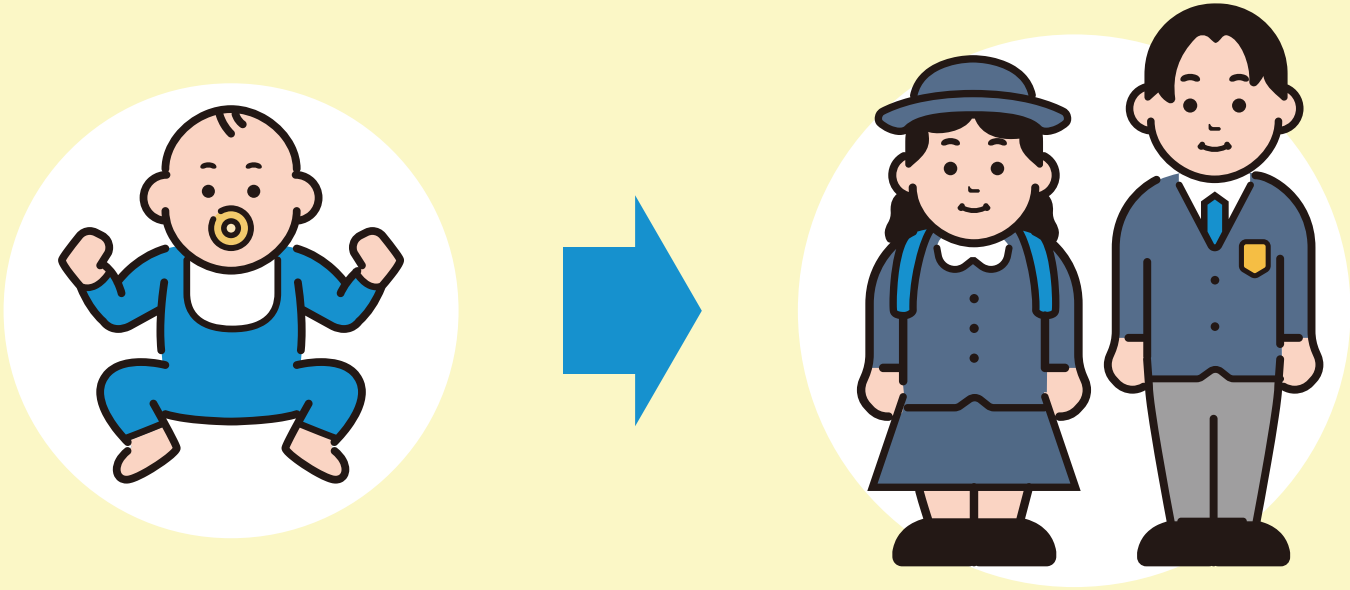


でも、子どもの安心・安全は何よりも優先したい。
「もしもの時」ではなく「いつも」守られていてほしい。

着目したタイミング

子どもが通学を始める時期

小学校入学を機に、子ども達は親の手を離れて通学するようになります。
まだ、生まれてからたった6年です。



子どもの安全を願う気持ちが強まるこの時期に
アフラックダックが親子へ寄り添い
アフラックへの「好き」を醸成します。

あ！フラッグ！



保険に入って、地域の通学路に
アフラックフラッグを設置しよう！

企画内容

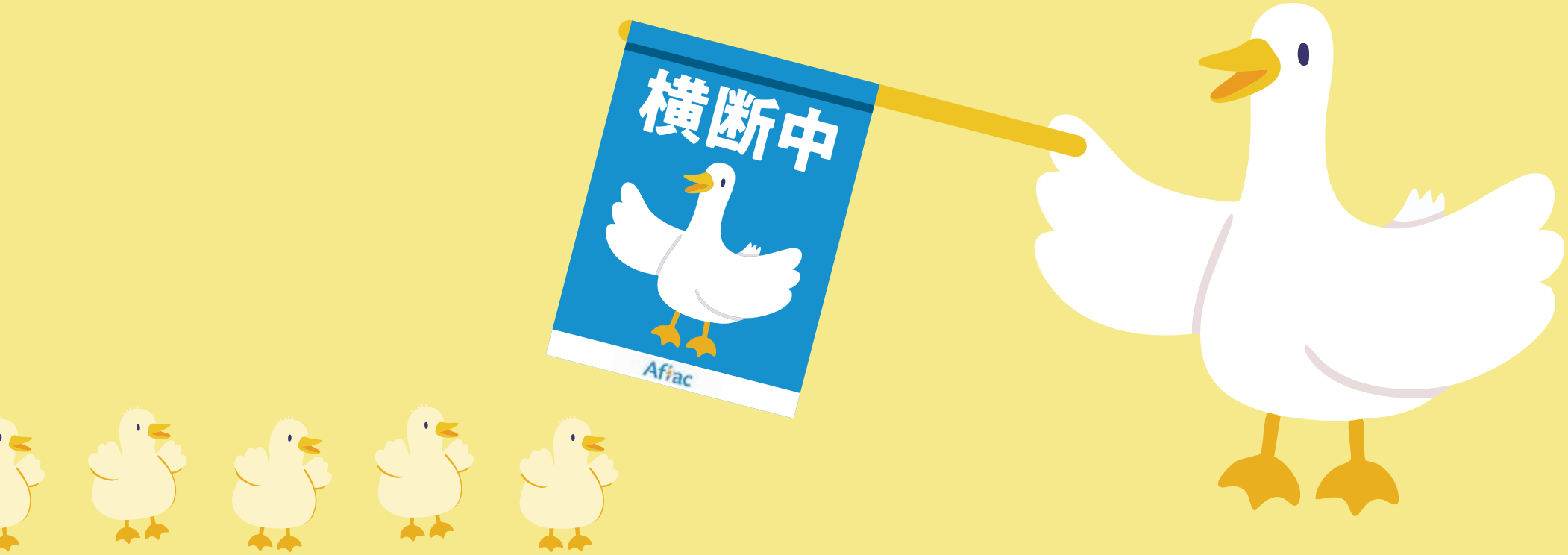
アフラックの生命保険に加入すると
加入者が住んでいる地域の自治体に
アフラックフラッグを寄贈する仕組みを作る。



通学路を見守る交通ボランティアに
交通安全の横断旗として活用してもらいます。

企画の狙い

アフラックダックが、
子ども達の安全を見守る存在に。



「もしも」に備えるアフラックが、子ども達の「いつも」を見守る。
親子の日常に根付くことで、アフラックへの好きを生み出します。

アフラックダックとの親和性



アヒルの親子は、親鳥を先頭に雛たちが一列になって歩く姿が印象的。
アフラックダックもまた、地域の子ども達を見守りながら
通学路の安心・安全を支えるシンボルにふさわしい存在です。


もしもの保険を
いつもの存在に！
あ！フラッグ！